



平成 22 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 常 葉 浩 之
(コード番号 4848 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 CFO 岡 田 城
電 話 番 号 03-4530-4830

平成 22 年 9 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年11月13日付の平成21年9月期決算短信にて公表しました平成22年9月期通期連結業績予想を、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年9月期通期連結業績予想数値の修正

(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,780	1,777	1,664	782	2,031.89
今回発表予想(B)	36,971	1,223	1,139	194	504.07
増減額(B-A)	3,191	△554	△525	△588	—
増減率(%)	9.4%	△31.2%	△31.6%	△75.2%	—
(ご参考)前期通期実績 (平成21年9月期)	57,293	△682	△925	△6,870	△21,288.47

2. 修正の理由

短期業務支援事業においては、当初計画時には新サービスへの段階的な移行を計画しておりましたが、上半期同様に短期派遣を中心に事業展開をしていく予定であるため、売上高は増加する見込みです。一方、営業支援事業においては、事業の選択と集中を行うため、売上高は減少する見込みです。営業支援事業の当初計画比減収分に対し、短期業務支援事業の増収分が上回ることから、連結売上高は3,191百万円増の36,971百万円を計画しております。

利益面につきましては、営業支援事業を除く各事業は、ほぼ当初計画の利益を確保する見込みです。しかしながら、営業支援事業は拠点統廃合等の固定費削減策などを実行いたしますが、売上高減少等による減益分を当期中に挽回しきれず、当初計画から大幅減益となる見込みです。以上のことから、連結営業利益は554百万円減の1,223百万円、連結経常利益は525百万円減の1,139百万円を計画しております。

また、本日開示の「本社機能統合に関するお知らせ」にお知らせしました本社機能移転に伴う費用 152 百万円、営業支援事業における拠点統廃合費用等 64 百万円の特別損失計上、当初計画に比べて少数株主損益が減少する見込みであること等を加味した結果、連結当期純利益は 588 百万円減の 194 百万円を計画しております。

以 上

当社グループの計画、見通し、戦略などのうち、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

従いまして、当社グループの業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しのみ全面的に依拠されることは控えて下さるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1) 当社を取り巻く経済・金融情勢および雇用情勢の変化、(2) 地震などの災害に伴う企業インフラの損害、(3) 当社グループの行う事業に適用のある労働基準法、労働者派遣法等の関連法令の変更、解釈の変更などです。

また、新たな情報、将来の事象、その他の結果により、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。